

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (H28-6号)

平成28年7月11日  
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成28年7月7,8日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は以下のとおりです。

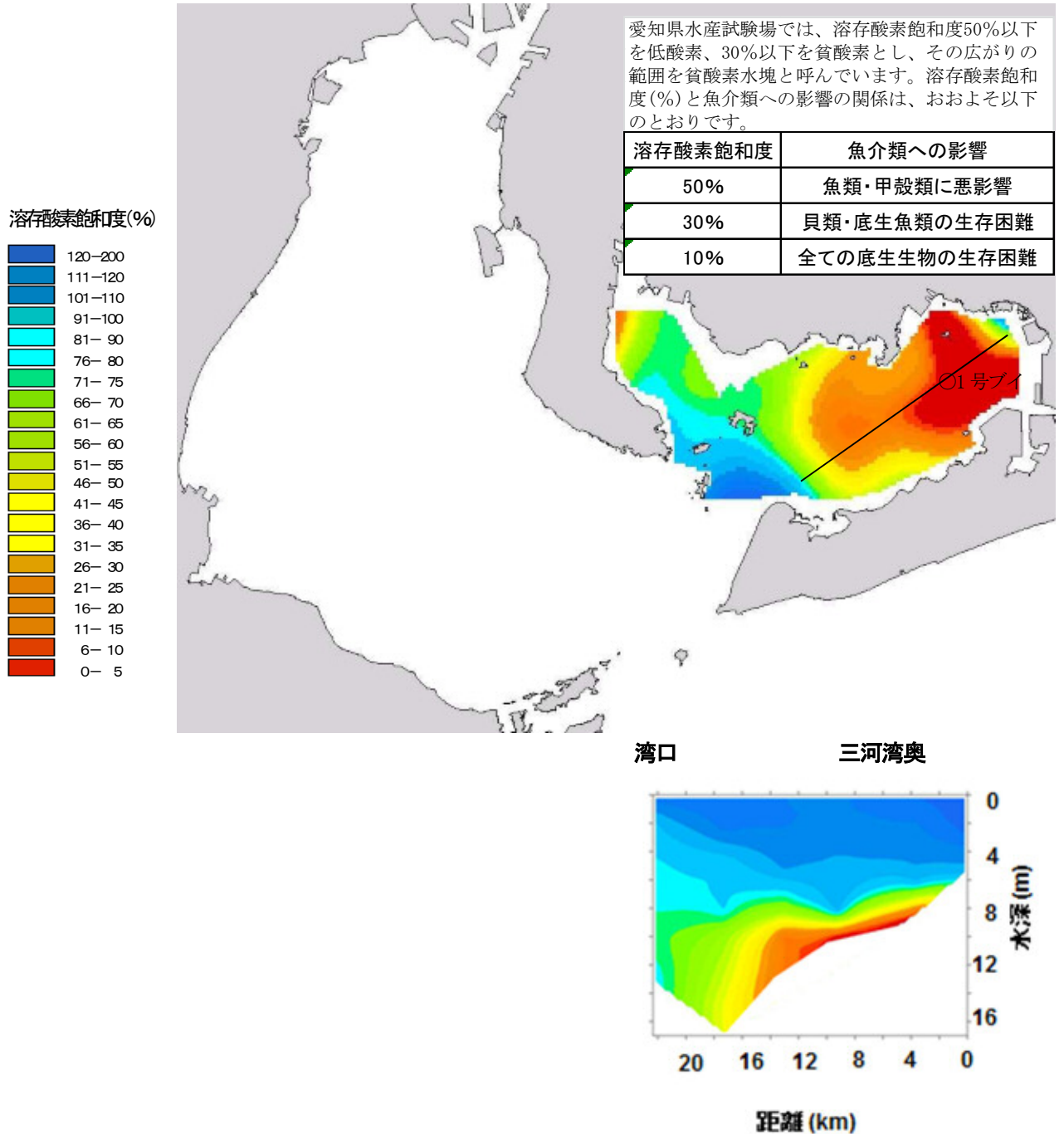


図1 三河湾(7月7,8日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)  
(愛知県「へいわ」調査)

### 三河湾

7月7,8日の調査結果を図1に示しました。前回調査(6月23日)では渥美湾奥部で貧酸素水塊が確認されましたが、今回の調査では渥美湾中央部まで拡大しており、知多湾の西部でも確認されました。

自動観測ブイ(1号ブイ:蒲郡沖)のデータを見ると、海底から3~5mに躍層が生じ、底層では溶存酸素飽和度が低く経過している様子が観測されています(図3)。

気象庁が10日に発表した週間予報では、気温は平年並みから高めで経過すると予想されており、今後も表層水温が上昇すると考えられます。このため、躍層が維持され海水の上下混合が起きにくく、貧酸素水塊が拡大すると思われる。

	水温(°C)		塩分	
表層	24.8	~ 27.5	26.3	~ 31.1
底層	20.8	~ 26.5	28.8	~ 32.9

図2 調査時の水温・塩分

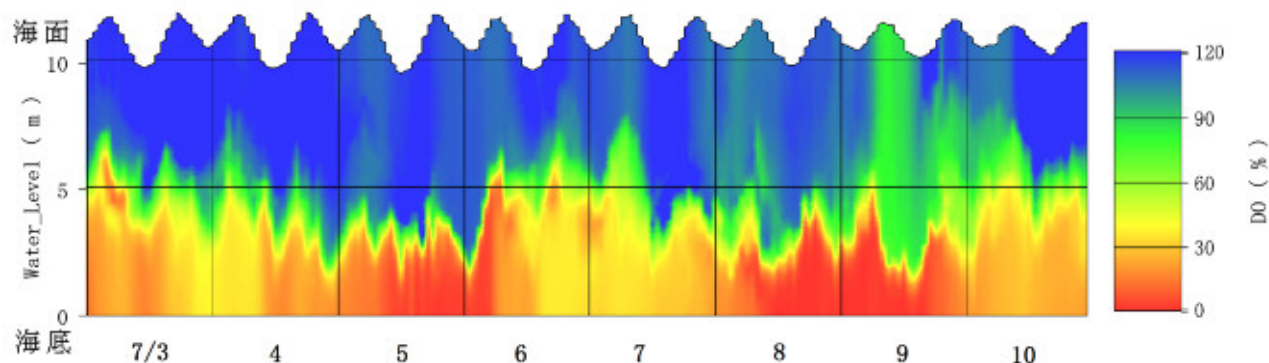


図3 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測ブイ1号)

### 参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

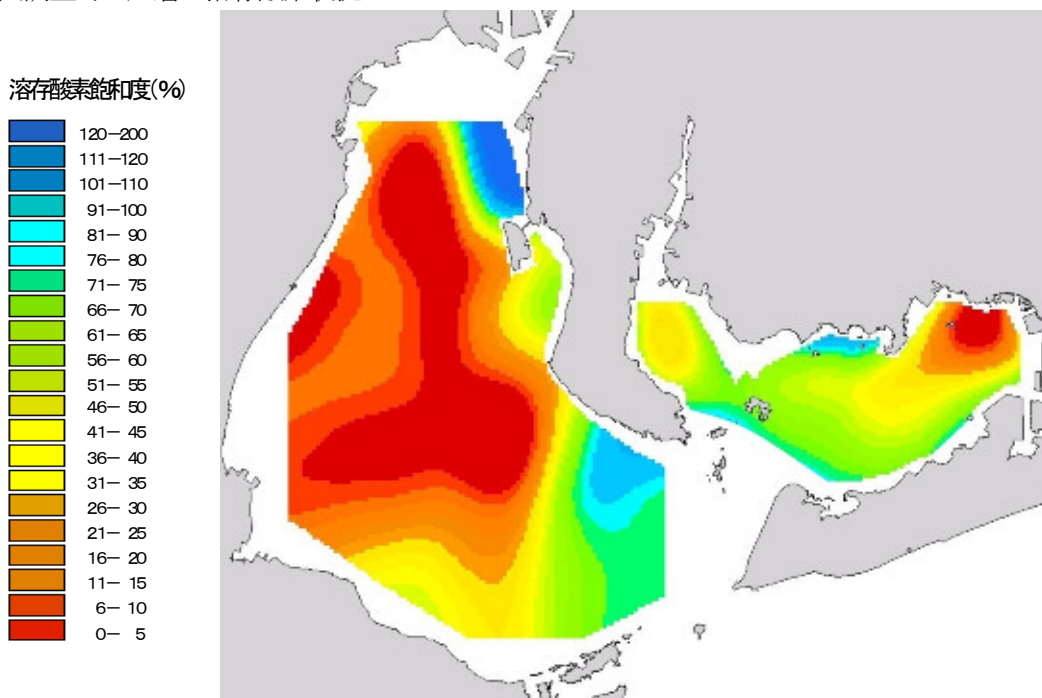


図4 平成28年7月1日(伊勢湾)、6月23日(三河湾)